

山口がもっと好きになる情報誌



Sight Yamaguchi vol.11 2019

起点はサビエル。

つながりは時を超え、
現在、そして未来へ。

スペインと山口。まったく縁がなさそうに見えるこの2つ。実は
遥か昔、今も山口の宝として大切にされている国宝・瑠璃光寺
五重塔が建てられた室町時代からつながりがあるのです。その縁の
始まりから交流の歴史、未来へ向けた新しい絆のカタチ、そして
訪れるスペイン人をもれなく?!「山口LOVE♡」にしてみよう
山口のいいところ、楽しいことを紹介します!

わたし
また、いいところ
見つけちゃいました!

ホントですか?!
ぼくも
おいしいモノ
見つけたんですよ!

CONTENTS

■巻頭特集

スペインと山口

「山口に受け継がれるスペインとの“絆”」

■特集2

山口市は、スペインのホストタウン

■特集3

スペインと山口

「遠くて近い、ステキな縁」

■特集4

国際交流員

マリアさん&エフラインさんお薦め!

あなたの知らなかった日本 in 山口♡

CONTENTS

■巻頭特集

スペインと山口

サビエルから2020年開催のオリンピックへ。
山口に受け継がれるスペインとの「絆」

- ・サビエルと山口
- ・来山四百年を記念して
- ・姉妹都市提携と新聖堂の完成
- ・イベントで「緑」を継承
- ・新たな絆 ホストタウン

■特集2

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
山口市は、スペインのホストタウン
p8

■特集3

スペインと山口
「遠くて近い、ステキな縁」 p.10

■特集4

国際交流員
マリアさん&エフラインさんお薦め!
あなたの知らなかった日本
in 山口♡ p.14

■彩都山口“旬”情報 p.23

- ・中原中也記念館 開館25周年
- ・明治維新策源地の新名所です
「十朋亭維新館」「亀山公園山頂広場」
- ・山口県央連携都市圏域「山口ゆめ回廊」
のロゴマークができました
- ・UJターンのご案内
「YELL50 エール・ゴジウ」発刊
- ・山口銘集「大内もなたん」シリーズ
2018年度グッドデザイン賞受賞
- ・レノファ山口 ホームゲーム情報
- ・ふるさと納税のご案内

□プレゼントクイズ

『彩都山口』のweb版は、コチラから。
<http://sight-yamaguchi.jp/>

彩都山口 検索

巻頭特集

スペインと山口

サビエルから

2020年開催のオリンピックへ。

山口に受け継がれる

スペインとの「絆」

山口市亀山、市役所そばの小高い丘の上に立つ
山口サビエル記念聖堂。
青空に映える白い2本の塔と三角形の屋根は、
山口の街のシンボルの一つになっています。
この記念聖堂ゆかりのフランシスコ・サビエルは、
室町時代末期、大内氏が統治する山口を訪れ、
日本で初めてキリスト教を布教したスペイン人宣教師でした。
市民にとって「サビエル」の名はなじみ深く、
スペインという国にも親しみを感じています。
およそ五百年前のサビエルとの縁から生まれた
スペインと山口の絆を今、改めて見つめ直し、
山口ならではの国際交流のかたちを探ってみましょう。



●サビエル公園

明治時代、山口カトリック教会に赴任したピリオン神父がサビエルの遺跡について探求し、日本最初のキリスト教会があった(すなわち大道寺跡)と推定した地。大正末期にサビエル記念碑が建立され、戦時中の金属供出を経て1949年に現在の碑が再建された。公園内には他に、大内義隆がトルレス神父に与えた寺院建立裁許状の碑やピリオン神父の胸像もある



300年以上の時を経て
山口の町が再び再び
私の姿が戻ってくることを...



●井戸端で布教するフランシスコ・サビエル像

山口サビエル記念聖堂の前方、亀山公園山頂広場のふもとには、サビエルが街中の井戸端でキリスト教を説く様子を表わした像が立てられている



サビエルの生家・ハビエル城。パンブローナ市街地の東南約50km、ピレネー山脈のふもと・ハビエルの町の丘に建つ。毎年3月には多くの信者がこの城を目指して巡礼する。旧サビエル記念聖堂の正面はこの城の城門をモデルとしていた(*)



左は、1991年に焼失した旧サビエル記念聖堂。建坪180坪の典型的なローマ様式のカトリック聖堂で入口の脇にハビエル城の石がはめられていた。右は、その旧サビエル記念聖堂内でのミサの様子。1960年頃。正面のドーム型になった壁にはキリストと使徒、天使などの絵が描かれていた。残念ながら写真には写っていないが、両側の白い円柱の外側にサビエルの生涯が連続的に描かれたステンドグラスの窓があった



1893~1979

サビエルの功績を称える動きが山口に起こったのは、それから三百年以上後のことです。1889年に山口カトリック教会に着任したピリオン神父は心血を注いでサビエルが布教の本拠地としていたと伝わる大道寺跡地を探し当て、保存に尽力しました。第一次世界大戦が1918年に終結すると、世界のキリスト教徒の間で山口は「聖人・サビエルが日本で布教の拠点にした地」と認識されるようになり、地元山口ではサビエル遺跡保存会が発足しました。保存会は県知事を代表者として寄付金を募り、1926年10月、大道寺跡地に「サビエル記念碑」が建立されました。碑にはめ込まれたサビエル肖像の銅版はその後、第二次世界大戦中に供出されてしまいましたが、戦後、1949年のサビエル来山四百年記念祭に際して肖像が再建され、除幕式が盛大に催されました。式にはサビエル来山四百年祭としてヨーロッパから訪れた74人のサビエル遺蹟顕彰巡礼団が参列し、地元商店街は店頭を造花や横断幕で飾り、終日花火を上げて一行を歓迎したといわれます。戦後数年のまだ決して豊かとはいえなかった時代に、四百年も昔の宣教師を顕彰し、海外巡礼団をもてなしたのは、山口の人々の心にサビエルへの親愛の情が息づいていたからでしょう。



Cembalo

サビエルが大内義隆に贈った西洋文物の中に楽器「マニコルディオ」があった。その楽器が改良されて出来たのがチェンバロと伝わることから、山口市は1995年に大内氏の家紋「大内菱」とサビエルの紋章を施したチェンバロを製作。このチェンバロを知っていたために、クリエイティブ・スペース赤れんがでは毎年コンサートも開催している

亀山の地に建てられた
聖堂には山口とスペイン
両国の人の思いが
詰まっていたのだよ



来山四百年を 記念して

1952年10月、亀山公園の一角に聖フランシスコ・サビエル記念聖堂が完成しました。高さ40メートルの鐘楼2つを備えた聖堂は、スペインのナバラ州にあるサビエルの生家・ハビエル城のたたずまいを模していました。内部はサビエルの生涯を描いたステンドグラスと大理石が調和し、2つの塔に取り付けられた鐘とスペインのナバラ州の知事から贈られたパイオルガンは当時の日本では珍しく、市民は誇らしく思ったのです。記念聖堂は観光名所としても定着し、サビエルの名は市民にぐっと身近なものになりました。

1549~1551

サビエルと山口

「西の京と謳^{うた}う歴史を抱き、自然も人も穏やかな山口。史跡が点在する街は四季折々の自然と調和し、淡い色に包まれているようです。その中心街にそびえ立つ山口サビエル記念聖堂の2本の塔と三角屋根は、街の趣きとは違ったものを漂わせています。それでいて風景に溶け込んでいるのが不思議。市外から街に入っこの塔が見えると「ああ、山口」と、ほっとするのはなぜでしょうか。実はそれは、山口市とサビエル、ひいてはその母国スペインとの間に結ばれた縁が今なお確かに続いているからなのです。

山口市とスペインの縁は今から約470年前、当時山口を治めていた大内義隆がスペイン人宣教師フランシスコ・サビエルにキリスト教の布教を許したことに始まりました。

フランシスコ・サビエル(1506~1552)はスペイン北部・ナバラ王国の貴族の家に生まれ、イエズス会の宣教師になりました。インドに渡った後、日本伝道のため1549年に鹿児島に上陸、翌年京都へ向かう途中、山口を訪れました。当時の山口は西中国から九州北部地方に勢力を奮う大内氏の本拠地として京を凌ぐほど栄えていたといわれています。サビエルは書簡に「日本(で最強)の領主がいる山口」と記しています。領主・大内義隆に謁見すると、文化人の誉れも高かった義隆はサビエルに海外の事情やキリスト教について尋ねたといえます。約1カ月の山口滞在の後、京都に赴いたサビエルは応仁の乱後の都の荒廃を目の当たりにし、

天皇への謁見もかなわず、わずか11日で京都を後にしました。

翌1551年4月、サビエルは再び山口を訪れ、この時の謁見ではインド総督とゴアの大神教から天皇に宛てた書簡や時計等の珍しい土産物を義隆に贈呈しました。義隆はそれに応えて布教を許可し、廃寺となっていた寺を宿舎兼説教所としてサビエルに与えました。以後、この寺(後にピリオン神父により宮野江良の大道寺と推定される。後述)を拠点にしたサビエルの説教には多くの人が耳を傾けたといえます。当時山口で洗礼を受けた人の数は五百人ともいわれ、サビエルは欧州への報告書に山口での日々を「私は私の生涯においてかくも大いなる喜びと精神的満足を覚えたことはかつてなかったと記しています。

はるかスペインからキリスト教とは無縁の日本にやって来たサビエルは、宣教師として最も充実した日々をこの山口で過ごしたのです。サビエルにとって山口が特別な場所であったことは間違いないでしょう。約半年間、山口で布教に励んだサビエルは1551年に日本を離れ、翌1552年、中国への旅の途中、47歳で生涯を閉じました。



1991年に焼失した旧サビエル記念聖堂の鐘。15分おきに鳴る鐘の音が市民に親しまれていた。現在は、山口サビエル記念聖堂の1階に展示されている



サビエルは1541年にポルトガル国王の命により東洋布教のためリスボンを出発、翌年インド・ゴアに到着し、ここを拠点に布教を重ねた。マラッカで日本人と出会ったことから1549年4月にゴアを発ち、同年8月に鹿児島に上陸したのが日本へのキリスト教初伝来とされている

※この図はフランシスコ・サビエルの主な渡航先と航路を分かりやすく紹介したもので、正式な渡航図ではありません。



文化交流 in パンプローナ

パンプローナ市を訪れた市民訪問団の有志による、地元小学校でのエプロンシアター披露。初めてみる日本の紙芝居に現地の子どもたちも興味津々!

私の故郷の近くに「やまぐち」がどんどん増えているやい。



やまぐち公園で行われた桜の記念植樹。植えられた桜は、山口市とパンプローナ市の長年にわたる友情の象徴とされている



やまぐち公園 & やまぐち図書館

事前調査から樹木や石の選定、造園まで、山口市造園協会の協力のもと山口市から何度も造園技師を派遣し完成させたやまぐち公園。東屋や池、滝など日本庭園の趣がある



やまぐち図書館の日本語書籍の蔵書数はスペイン国内でトップクラス。定期的に日本や日本語についての講座、展示などが開催されており、日本について学びたい人や興味のある人にとってのメッカになっているそう。日本の紙芝居は特に人気で、国際交流員が帰国する際のお土産にリクエストされるほどだとか(※)



姉妹都市締結30周年の年には、民間国際交流団体「山口スペイン・ナバラの会」からやまぐち図書館へDVD資料収集のために500ユーロが寄付された



姉妹都市締結後は、姉妹都市市民の会が設立され民間使節団もパンプローナ市を訪問し、交流を深めていった



山口市からの調印使節団はパンプローナ市で大歓迎を受けた。市庁舎前広場では祝福の民族舞踏が披露され、両市関係者はバルコニーから歓声に応えた



1980年2月19日、パンプローナ市役所にて姉妹都市提携の調印式が行われ、記念品として山口市から「かぶと」、パンプローナ市から市章入りの金メダルを贈り合った



3000人を越すパンプローナ市民が調印使節団を大歓迎し、翌日の新聞にも大きく報道された。



Fiesta de San Fermin

パンプローナ最大の祭り「サン・フェルミン祭(牛追い祭り)」は守護聖人サン・フェルミンの殉教祝いを起源として毎年7月に開催。巨人(人形)を連れた音楽団/パレードや屋外食事会などで町中が賑わう



Pamplona

Yamaguchi

姉妹都市提携と新聖堂の完成

それから約三十年後、山口市は1979年の市制施行50周年を機にスペインとの歴史的関係に改めて着目し、市長ら14名がサビエルの故郷ナバラ州の州都パンプローナ市を親善訪問しました。2か月後にはパンプローナ市長ら6名が山口市を訪れて市制施行50周年記念式典に出席し、翌1980年に山口市とパンプローナ市は姉妹都市提携を結びました。締結のためパンプローナ市を訪ねた調印使節団の報告記に「現地では、聖サビエルによる交流が430年を経た今日再び形をかえて訪れたと、市民各層の心からの歓迎を受けた」まず、市民ぐるみの交流組織を」と記されているように、サビエルとの縁に端を発する両市の交流はこの時から始まりました。以来、市民間の交通やメッセージ・児童画・絵葉書等の交換、さらには締結15周年・20周年といった節目の年の相互訪問等を通じて、両市民は互いの文化への理解と友好を深めていったのです。

そんな中、山口市は思いがけない災難に見舞われました。1991年9月にサビエル記念聖堂が焼失してしまったのです。宗教を越えて山口市のシンボルの一つにもなっていた聖堂の焼失に市民は心を痛めました。再建を望む声が次第に高まり、信徒のみならず市民も力を注いだ募金活動が大きな支えとなって、1998年4月、同じ亀山の地に新たな山口サビエル記念聖堂が完成しました。旧聖堂とは違って変わった斬新なデザインが話題となりましたが、市民からの支援を得て建てられた点は新旧同じ。新聖堂の献堂式にはパンプローナ市からも要人ら7名が出席し、小学校を訪ねて児童とも交流しました。

山口市で記念聖堂の新旧交代が行われた間に、パンプローナ市でも一大事業が進められていました。姉妹都市締結15周年を記念する「やまぐち公園」が1997年、市街地に完成したのです。面積約6000平方メートルの日本庭園は、山口市から派遣された造園技師の現地指導のもと建設され、開園式には山口から40人の訪問団が出席。400個の紅ちようちんを飾った園内で、山口市のPRや伝統の踊りをパンプローナ市民と一緒に踊るといった交流が行われました。以後、公園は憩いの場としてパンプローナの市民に愛されています。また、隣接するやまぐち図書館では、市民団体山口スペイン・ナバラの会から寄贈された紙芝居が人気を呼んでいるといえます。

一方、山口市では一の坂川のえびす橋が1993年にパンプローナ市をイメージしたガーデンブリッジに改装され、「スペース・パンプローナ」と名づけられました。姉妹都市提携から年を重ねるにつれ絆は深まり、パンプローナと山口、それぞれに相手の市の名前を冠した憩いの場が設置され、市民に親しまれているといわれています。



新・山口サビエル記念聖堂



スペース・パンプローナ

スペース・パンプローナ。時計台の周囲にはパンプローナの子どもの絵もはめこまれている。広場の中心にあるからくり時計は、パンプローナ最大の祭り・サン・フェルミン祭にちなんで牛追いシーンを表現している

からくり人形たちが動き出してカワイ!



パンプローナ市からも市長をはじめとする公式訪問団が姉妹都市締結の周年行事の年などに山口市へ来訪。記念式典でメッセージを交換するほか、山口市内の視察、観光地の訪問、茶の湯や着物などの日本文化の体験を通じて友好の絆を深めている

文化交流 in 山口



姉妹都市として育んできた相互交流が、スペインと山口の絆を一層深めてくれているのだ



山口市の国際交流員・エフラインさんは、スペインフィエスタなどのイベントや学校などに向いてスペイン講座を実施。スペイン&姉妹都市バンブローナの紹介に努めている。塗り絵やパズル遊びなども取り入れて楽しく進行



サビエルのこと、スペインのことをもっと知ってほしい。出前講座も喜んで行います



／ジュージュー／



山口調理製菓専門学校の学生たちによる直径1.5mの大鍋で作る巨大パエリアの実演販売。毎年恒例でこれを楽しみに訪れるファンも多く、500食分のチケットが早々に完売となるほどの人気

11月開催
HOLA!やまぐち
スペイン・フィエスタ!

いほや秋の
大人気イベントとして
すっかり定着!!

山口市中心商店街にサン・フェルミン祭にならった巨人の人形も登場(写真右)。メインステージでは県立大学生がフラメンコを熱演(写真下)



Yamaguchi Spain Fiesta

2016~

新たな絆 ホストタウン

そして東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を前に、新たな交流も生まれています。2016年、山口市はスペインのホストタウンに登録され、翌年スペイン王立水泳連盟と協定を締結。以降、水泳スペイン代表チームの山口市でのトレーニングキャンプを受け入れています。選手たちは滞在中、トレーニングの合間に市民や子どもたちとさまざまな交流も楽しみ、スペインと山口の絆は、さらなる広がりへと深まりをみせています。



2016年6月14日山口市は山口県とともに「スペイン」のホストタウンとして登録。以降、2017年2月にはスペイン王立水泳連盟と事前キャンプ実施の覚書を、翌年にはトレーニングキャンプ実施に関する協定書を締結。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて市全体で水泳スペイン代表チームを受け入れ、応援する機運を醸成している

山口と私の故郷スペインの絆が
永遠に続きますように!!



1998~

イベントで 「縁」を継承

山口市では、そうした市民の心をさらに高めてくれるイベントも開催されています。姉妹都市提携をきっかけとして「スペイン」をキーワードに毎年11月3日に山口市中心商店街で開催されている「スペイン・フィエスタ」は、2018年で12回目を数えました。1998年11月に市内道場門前商店街で行われた「スパニッシュロード」や、1999年5月に市制70周年記念・サビエル来日450周年記念として新亀山公園で開催された「山口スペインカーニバル」などを経て生まれたこのイベントは、フラメンコのステージや多彩な展示、スペイン料理の調理・販売など、内容盛りたくさん。人々は商店街を行ったり来たりしながら、飲んで・食べて・踊って、スペインを体感します。この「スペイン・フィエスタ」が毎年恒例になっていることから、山口とスペインの絆の確かさが感じられます。

さらに2008年からは山口商工会議所を中心に結成された実行委員会が、「12月、山口市はクリスマス市になる。」というイベントを毎年開催しています。これは、サビエル来訪の翌年(1552)12月に山口で降誕祭が行われたことを「記録に残る日本初のクリスマス」として始まったもの。毎年12月になると、山口サビエル記念聖堂をはじめ市内各所でクリスマスにちなんだ舞台イベントや展示、ワークショップ等が行われ、夜は街がイルミネーションに彩られて、まさに「日本のクリスマス発祥の地」にふさわしい表情を見せます。

スペイン&山口 交流年表《おもな出来事》

年	出来事
1506	スペイン・ナバラ国のサビエル城でフランシスコ・サビエル誕生
1549	サビエル、1941年にリスボンを出帆、インド、マラッカなどを経て鹿児島上陸
1550	サビエル、平戸、博多を経て上京の途中山口へ。領主・大内義隆に謁見
1551	サビエル、再び山口入り。西洋の文物を義隆に贈呈し布教の許可を得て約半年間山口で布教活動に従事した後、豊後を経てインド・ゴアへ赴く
1552	サビエル没。遺体は一旦マラッカに埋葬された後、1554年ゴアに埋葬
1893	ピリヨン神父によりサビエル布教の地、大道寺跡が発見される
1926	大道寺跡(山口市金古壺)にサビエル記念碑完成、除幕式挙行
1944	第二次世界大戦中、サビエル記念碑の胸像が撤去され供出される
1949	サビエル来日400年を記念しヨーロッパよりサビエル遺蹟顕彰巡礼団来山。再建されたサビエル記念碑の復旧除幕式挙行
1952	亀山の地に聖フランシスコ・サビエル記念聖堂完成。献堂式が行われる
1979	サビエル資料館完成
1980	スペイン・バンブローナ市役所にて姉妹都市盟約書に調印
1991	サビエル記念聖堂、火事により焼失
1993	一の坂川にガーデンブリッジ「フェース・バンブローナ」を設置
1994	姉妹都市交流15周年を記念してバンブローナ市に日本庭園「やまぐち公園」の建設が決定
1995	姉妹都市交流15周年の記念訪問団が来山
1997	バンブローナ市に「やまぐち公園」完成。40名の訪問団が開園式に出席
1998	山口サビエル記念聖堂完成。スペイン大使、バンブローナ市第1副市長らが来山し献堂式に出席
2000	姉妹都市交流20周年を記念し友好訪問団がバンブローナ市を訪問。記念式典、「やまぐち公園」での桜の植樹などを行う
2001	姉妹都市交流20周年の記念訪問団が来山。山口きらら博等を視察
2002	バンブローナ市にバンブローナ・やまぐち公立図書館開館
2005	姉妹都市交流25周年を記念し訪問団がバンブローナ市を訪問。記念式典、植樹、図書への贈呈、日本庭園の整備の指導等を行う
2006	バンブローナ市から25周年記念訪問団が来山。徳地・重源の郷や国民文化祭を視察。紙芝居を贈呈
2010	姉妹都市交流30周年を記念し訪問団がバンブローナ市訪問。山口スペイン・ナバラの会がやまぐち図書館へDVD収集のための500エロを寄付
2015	姉妹都市交流35周年記念訪問団がバンブローナ市訪問。記念式典、植樹、日本の紙芝居とスペインの絵本の交換、大内小学校児童制作の紙芝居の贈呈等を行う
2016	山口県、宇部市とともにスペインのホストタウンに登録
2017	水泳スペイン代表チームのトレーニング・キャンプの受け入れを始める

♪HOLA!♪



本場スペイン人のフラメンコダンサーもステージに登場!! フラメンコギターとカステネットのリズムでスペイン気分を盛り上げる

12月開催
12月、山口市は
クリスマス市になる

山口市の街が
イルミネーションに輝く
冬の風物詩



サビエルつながりで始まったイベントも山口の冬の風物詩としてすっかり定着。旧サビエル記念聖堂を型どったイルミネーションが人気

／ジュージュー／



サフランの香りと黄色が、鮮やかなバリエアはスペインを代表する料理。2018年、2019年には国際バリエアコンテスト優勝経験のあるシェフが作るバリエアが、出店。ムール貝やエビ、アサリもたっぷり入った本格派の味。販売前から長蛇の列が



本格スペイン料理店からスペイン風菓子を作る市内の高校の料理クラブまでさまざまな屋台が出店するスペインフィエスタ。あれこれ買って、食べ比べをするのも楽しい。商店街のアーケード内がみっちり埋まる人気!!





市内の小学校を訪ね、自分たちのチームの紹介をしたり一緒に給食を食べたりして交流を深めました。



練習の合間に、山口市内の観光や日本料理、着物体験などの日本文化を楽しむスペイン代表選手たち。お互いの国を知る相互交流に。



トレーニングキャンプの期間中に開かれたエキシビションには市内外から1,500名もの観客が詰めかけ、アーティスティックスイミング・スペイン代表チームの華麗な演技に惜しみない拍手を送りました。



市内で水泳競技を行っている中学生を対象に、スペイン代表選手らによる講習会を実施。参加生徒たちは初めて会うスペイン代表選手に感激！優しい指導にお礼を述べました。

山口市は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

スペインの★ホストタウン

メダルがとれますように!!
オール山口で、水泳スペイン代表チームを応援しています。

山口市では、2014年より東京2020会の事前キャンプの誘致に取り組んでタウン制度を創設。当市と歴史的にゆに、山口県、宇部市とともに登録され、います。スポーツや文化、経済など幅との繋がりをさらに深めていきます。

オリンピック・パラリンピック競技が大ききました。2016年には、国がホストカりの深いスペインの「ホストタウン」ホストタウンとしての活動を推進して広い分野で相互交流を図り、スペイン

【ホストタウンとは】
国は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開交流を推進。その取組を行うために国の登録を受けた自治交流を図り、相互に応援しながら大会を盛り上げていくこと

催に向け、大会の参加国・地域と全国の自治体との相互体が「ホストタウン」。スポーツ・文化・経済などを通じてを目的としている。



トレーニング中に山口の特産品である徳佐りんごを提供。「とてもオイシイ!」と喜ばれて、次のキャンプ時にリクエストが出るほど。



トレーニングの合間に地元・阿知須地域の「ふるさと祭」に参加。地区の皆さんとのふれあいや緑日を楽しみました。



トレーニングキャンプ受け入れの歓迎式。けん玉日本一になったこともあるお母さんと、その娘さんたちがけん玉の妙技で選手の皆さんをおもてなし。

「スペイン・フィエスタ」への参加。商工会関係者とも懇談。経済的な相互交流のきっかけづくりも。ステージでトレーニングキャンプの紹介なども行われました。



¡Hola!



Interview: トレーニングキャンプで山口市を訪れた、水泳スペイン代表チームの選手のみなさんに聞いてみました!

■ 山口市でトレーニング・キャンプを行った感想を教えてください。練習に最適な施設もあり、穏やかな都市だと思いました。／全部素晴らしいかったです。皆さんの温かい歓迎に、日本ならではの謙虚さや礼儀正しさを感じました。／日本らしい文化に触れたり、最高の状態で合宿できてよかったです。／とてもきれいです。人はとっても優しいし、接しやすいと思いました。合宿での訓練は簡単ではなかったけれど、視察などで気軽に臨むことも気分転換もできました。／施設は素晴らしいので感謝を受けました。また、そこで働いている皆さんの対応も温かかったです。感謝しています。／最初から自分たちの家にいるようでした。／人はとても親切できっちりしていて、素晴らしいと思います。施設に関しては感謝を受けました。また、果物も美味しかったです。／とてもいい印象を受けました。人は全員優しく、困ることなく、山口の観光や文化、食べ物を楽しむことが出来ました。／緑が多く、とてもきれいな都市です。都会の人混みから離れているのも魅力。市民の心温まる歓迎も印象的でした。

■ 山口の街や山口の人の印象はどうでしたか? とても優しい人ばかりですぐに手伝ってくれます。／最も驚いたことは、どれだけ皆さんが私たちのために尽くしてくれたかということです。謙虚でいい人ばかりに出会えてよかったです。／すごいぜ! 人はすごく親切で温かかったです。／山口の人はとても親切で温かいです。また、街全体も非常にきれいです。／山口は素敵です。人は親切で、気がききます。／山口はやっぱりきれいですね。どこを見てもゴミがなく、すごかったです。人々もすばらしかったです。ずっと見守ってくれていました。／人は何の見返りも求めずに、寛大で素晴らしいかったです。また、きっちりしているのも印象深かったです。／10点満点で11点。何よりも人柄が素晴らしいかったです。また、山口の自然や穏やかさも気に入りました。／合宿に関わった皆さんのおかげで集中でき、心配りのきいた人ばかりで大変心地よく感じて滞在できました。

ホストタウンの経緯

2014年～
2016年6月14日
2017年2月20日
2017年11月3日～12日
2018年2月6日
2018年4月18日～24日
2018年4月
2018年4月21日
2018年11月22日
2018年11月30日～12月13日

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプの誘致に取り組む山口県とともにホストタウンに登録(宇部市は追加で12月に登録)スペイン王立水泳連盟と事前キャンプを山口市で実施する旨の覚書を締結競泳のスペイン代表チームのトレーニングキャンプを試験的に受け入れるスペイン王立水泳連盟と山口市でのトレーニングキャンプ実施に関する協定書を締結アーティスティックスイミングのスペイン代表チームがトレーニングキャンプを実施アーティスティックスイミングのスペイン代表チームが市内の小学校で交流活動を実施アーティスティックスイミングのスペイン代表チームのエキシビションを開催経済交流の促進のため、国際会議「第20回日本・スペイン・シンポジウム」の開催競泳のスペイン代表チームがトレーニングキャンプを実施



国際交流員（マリアさん&エフラインさん）が語る

スペインと山口 「遠くて近い、ステキな縁」



山口市は、東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会における
スペインのホストタウン。

事前キャンプの受け入れなどで水泳スペイン代表チームを支援し、
スペイン選手たちと市民の交流にも力を注いでいます。

その橋渡し役を務めているのがスペイン人の国際交流員、マリアさんとエフラインさん。

活躍中の二人に、スペインとの交流や

スペインの方から見た山口の魅力について語っていただきました。

España y Yamaguchi

Interview

サビエルが結んだ不思議な縁

お二人が山口に来られた
きっかけは？

マリア・ルビオ（以下マリア）…私は中学生の頃、ジブリ映画を見て日本に興味を覚え、大学で日本語を学びました。卒業後、マドリードの日本国際交流基金でインターンシップをしていた時、山口県の国際交流員を務めていた先輩から「山に囲まれて人が優しい町」と聞き、山口に憧れるようになりました。来日して神戸で勉強した後、3年間山口県国際交流員を務め、山口市の国際交流員になりました。

エフライン・ビジャモール（以下エフラ）…私も子どもの頃から日本に興味を抱いていました。18歳のとき実家がパンプローナに移り、独学で日本語を学んだ後、日本についてもっと勉強したいと思うようになりました。そこで、山口で大学受験に挑み、「自分も山口県立大学で勉強しよう」と思い、2011年9月に山口に来ました。大学では日本語教育を学び、大学院では国際関係を研究しました。

スペイン人、特にパンプローナ市民にとつて山口はどんな存在でしょうか？

エフラ…身近な存在です。パンプローナはサビエルの故郷ナバラ州の州都で1980年に山口市と姉妹都市提携を結びました。それを機に市内に大きなやまぐち公園が造られ、市民の憩いの場になっています。やまぐち図書館やまぐち広場もあり、山口についてどの程度知っているかは別にして、市民は山口に親しみを感じていると思います。

マリア…私もパンプローナに行った時、そのことに驚きました。私のいたマドリードでは山口は知られていなかったのです。やまぐち公園は山口の造園業者さんが造った日本庭園ですし、やまぐち図書館には日本の小説やマンガ、紙芝居が置いてあって人気ですね。

エフラ…やまぐち図書館は日本について学びたい人や日本文化の好きな人たちの拠点になっていて、日本の本の読書会や俳句などの講座も定期的に開かれています。

山口がそんなに親しまれているとは意外ですね。

エフラ…ナバラ州の人々が尊敬する守護聖人・サビエルが訪ねた地なので、特別です。

マリア…サビエルはスペインでも尊敬されていて、サビエルという名は（※注1）パンプローナの男の子に一番多い名前です。スペインの町で日本と歴史的なつながりがあるのは、パンプローナと、17世紀に日本の使節団（※注2）が訪れたコリア・デル・リオの2つだけです。

サビエルが山口に来たのは16世紀でした。

マリア…サビエルは日本に来た最初のスペイン人で、布教のための来日でしたが、西洋文化なども紹介して親善大使のような役割も果たしたと思います。逆に西洋にも、当時は存在すら知られていなかったミステリアスな国・日本について手紙で書き送っています。

エフラ…あの時代に船で何年もかけて見知らぬ日本に来たサビエルの勇氣に感動します。そして、各地を回って山口に寄り、都にも上ったけれど、結局山口に戻って来た。つまりサビエルは、山口を選んだんです。山口の人はこの事を誇りに思っていると思います。

サビエルは後に「山口での日々は、人生で一番充実した時だった」と手紙に書いています。それに、もしかしたら私と同じように「山口は故郷ナバラに似ていて懐かしい」と思ったのかもかもしれませんね笑

マリア…「日本人は自分が今まで出会った民族



日本語の書籍が充実している
やまぐち図書館の書架（※）

の中で一番威厳があつて、嘘をつかない」とも手紙に書いていますね。私も同感です。

山口でスペインとの
繋がりを感ずるのは？

エフラ…まず山口サビエル記念聖堂。現聖堂は二代目ですね。1990年に旧聖堂が焼けた時、市民はサビエルの存在の大きさに改めて気づき、寄付を集めたりして7年後に新聖堂が再建されたのだと思います。

思えばサビエル来訪から4世紀も経っているのに、山口とサビエルやスペインとのつながりがなくならないのは不思議です。

マリア…実は私は15歳のときにサビエルの生家の城を目指して歩くサビエル巡礼に参加していました。何か不思議な縁を感じます。

エフラ…私もパンプローナに移った後、山口で暮らすことになり目に見えない縁を感じています。アメリカ人留学生などから「山口ではスペイン人は特に歓迎されているね」と聞くことがあります。市民はやはりリスベイン人に対して好印象を持っている方が多いと思います。

マリア…伝統や歴史を大切にしている山口では、人の心も受け継がれているのだと思います。

（※注1）スペイン語では「ハビエル」、バスク語では「シャベル」と発音される。
（※注2）支倉常長ははぐらうねが率いる薩長遣欧使節





「着物で街ロケ」の 起点はココ!

まずは山口市菜香亭で着物体験はいかが? きれいに着付けてもらった後は、館内や庭園での撮影はもちろん、近くの名所・旧跡も訪ねてみましょう。日本情緒たっぷりのショットはインスタ映えもしますよ!

山口市菜香亭

1877年に料亭として創業し、井上馨をはじめ山口県出身の政治家や文人に親しまれた歴史を伝える建物。大広間には佐藤栄作ら著名人の書やゆかりの品が並び、2階はギャラリースペースとして活用されている。日本庭園では春の桜、秋の紅葉などが見事。スペイン伝統の祝い菓子ボルボロンも販売。着物体験、人力車、大広間の抹茶体験、レンタサイクルも充実。

☎ 083-934-3312
 📍 山口市天花1-2-7
 🕒 9:00 ~ 17:00 (観覧)
 🗓 火曜 (祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日
 💰 入場料/高校生以上 100円、小中学生50円
 レンタサイクル/半日(4時間未満) 200円、1日(4時間以上) 410円



手ぶらで
OK!

● 着物体験・抹茶体験

好きな着物を選んで着付けしてもらえます。足袋・髪飾りまで含んでいるので、旅行の合間や着物が初めての人でも安心。

【着物体験】利用前日の昼までに要予約

🕒 9:00 ~ 15:00
 💰 2時間未満 2800円、2時間以上 3600円 (着物体験・着付け・足袋・髪飾り・一式全て含む)

【抹茶体験】

🕒 土曜・日曜・祝日 💰 1杯 440円



in
山口

国際交流員
 マリアさん&エフラインさんお薦め!
 あなたの知らなかった日本



Maria Rubio Caro



対談ページ(P.10~P.13)にご登場いただいた国際交流員お二人の言葉どおり、豊かな自然に包まれた山口市には、歴史遺産や伝統文化に気軽に触れられるスポットがそろっています。日本の魅力をいわばダイジェストで効率よく味わえるのが山口市の自慢。もちろん「現代の山口」ならではの魅力も。外国の方も日本人観光客も、四季折々の自然に包まれた市内を巡れば、「あなたの知らなかった日本」を体験できます。



Efraín Villamor Herrero

維新イケメンの残り香に触れる?!

じっぽうてい 十朋亭維新館

十朋亭、杉私塾、萬代家主屋、本館の4つの建物で構成される歴史ミュージアム。十朋亭は代々続く醤油屋萬代家の離れとして建てられ、幕末期、藩庁が萩から山口へ移った際には長州藩の藩士たちの御用宿として使われた。市指定文化財(史跡)になっており、桂小五郎、高杉晋作ら維新の志士たちの名残りを伝えている。隣接する本館は山口が誇る歴史トピック「明治維新」の紹介施設として2018年9月にオープン。当時の長州藩について映像やグラフィックパネルで学べ、専用アプリを使って幕末維新の山口へのタイムスリップも楽しめる。

- ☎ 083-902-1688
- 〒 山口市下堅小路112
- 🕒 9:00～17:00
- 🔥 火曜(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日
- 💎 無料。本館展示室のみ高校生以上 200円、小中学生 100円



本館では、アプリや
プロジェクションマッピングで
山口の近世の歴史が
楽しく学べます!



p.24にも
情報あります!!



上は、維新の志士たちの宿所となった「十朋亭」。建物は1800年頃のもの。下は、2018年オープンの本館

町家でホッとひと息&観光プランを練る!

おおじ 大路ロビー

古い町家を改修し「まちのロビー」として、中心市街地周辺の観光案内や地域の情報発信を行っている。館内には休憩スペースがあり、幕末関係の本棚もある。レンタル衣装で幕末志士になり切って楽しむ「維新deコスプレ」も人気。

- ☎ 083-920-9220
- 〒 山口市下堅小路115-3
- 🕒 10:00～17:00
- 🔥 火曜、お盆、年末年始



●維新deコスプレ

久坂玄瑞や高杉晋作など維新の志士をイメージした衣装や袴・鎧・刀で洋服の上から簡単に着られる。子ども用もある。



事前予約不要 ☎ 30分 200円、2時間 500円
※2019年4月以降料金改定予定

「志士」に
変身!

日本の季節行事を軒先で体感

たてこうじ おおどのおおじ 堅小路・大殿大路周辺

室町時代に大内の殿様が通ったという通りには歴史情緒あふれる街並みが残され、「大内文化特定地域」に指定されている。3月の「大殿ひなさんぽ」では通り沿いの各店舗にひな人形が飾られ、4月末～5月の「端午deさんぽ」では軒先に鯉のぼりや店頭五月人形が飾られる。12月には「大殿あかりさんぽ」として街並みがイルミネーションに輝く。

歴史情緒あふれる
街並みバステキ!



左上/大殿ひなさんぽ 左下/端午deさんぽ
右/大殿あかりさんぽ



映える!「西の京」のシンボル・タワー

るりこうじ ごじょうのとう 国宝 瑠璃光寺五重塔

国宝に指定されている「西の京 山口」のランドマーク。1442年に完成したと伝わる。松皮葺の屋根とスラリとした姿が印象的な塔は、奈良の法隆寺、京都の醍醐寺と共に「日本三名塔」に数えられている。夜間は22時までライトアップされ、幻想的な美しさを漂わせる。瑠璃光寺境内にある瑠璃光寺資料館には、五重塔の骨組みを紹介する模型などが展示されている。

- ☎ 083-924-9139
- 〒 山口市香山町7-1 / 見学自由
- 💎 瑠璃光寺資料館入館料 大人200円、中・高生100円、小学生50円
- 🕒 瑠璃光寺資料館入館時間 9:00～17:00



松皮葺の本堂と庭でしっとり

りゅうふくじ 龍福寺(大内氏館跡)

本堂は室町時代の代表的な寺院建築として国の重要文化財に指定。6年に渡る修復工事を2011年に終え、松皮葺の屋根が復元されている。館跡にあった室町時代の池や門、庭も再現され、参道にはサビエルがその側で布教したとされる井戸が残っている。敷地内にある資料館では大内義隆画像や伝来の古文書などを展示。紅葉の名所としても知られる。

- ☎ 083-922-1009
- 〒 山口市大殿大路119
- 🔥 年中無休
- 💎 龍福寺資料館入館料 高校生以上 200円、小中学生 150円
- 🕒 龍福寺資料館入館時間 9:00～17:00

サビエルが
ここにあった井戸の側で
布教したと言われて
いるらしいよ。



肌はすべすべ&県内観光地に好アクセス

“美肌の湯”湯田温泉

800年の歴史を誇る名湯。その昔、ケガをした白狐が傷を癒したという白狐伝説が伝えられている。無色でアルカリ性単純泉の湯には美肌効果があるとか。

温泉街は山口観光の宿泊拠点として親しまれ、飲食店も充実。日帰り温泉施設や無料の足湯、観光回遊拠点施設などもそろっている。萩や秋芳洞・秋吉台、元乃隅神社などへの観光バスも湯田温泉発着便が充実しており、ここを拠点に県内各地を観光するといいい。

【アクセス】
JR新山口駅から山口線で約20分、バスで約30分



温泉もグルメも充実、
県内観光へのアクセスも良く、
宿泊拠点に！
市内巡りの合間には、温泉でホッと一息、もお薦め。そして、おいしい物を食べて、山口ならではのお土産も。山口県の真ん中だから、県内各地観光の宿泊拠点として最適！

試せる温泉&試せる名物！
観光情報も手に入る！

湯田温泉観光回遊拠点施設 狐の足あと

山口市や県内の観光、グルメやお土産の情報がゲットできる拠点施設。山口の地酒の飲み比べや山口銘菓・外郎のパフェがあるカフェ、屋外屋内3タイプの足湯も充実。ここで気に入りの地酒を選んだり、足湯に浸かってプランを練れば、旅の楽しさ倍増！

☎ 083-921-8818 所 山口市湯田温泉2-1-3 🕒 8:00～22:00
🗓 年中無休 🎫 入館無料。足湯のみ有料 大人200円、小学生100円

URL <http://www.yuda-onsen.jp>

狐の足あと 湯田 🔍 検索 「ごちそうあります。」のページで居酒屋検索できます!!



山口とスペインとの絆の始まりがワカル！

山口サビエル記念聖堂

サビエルの功績を称えて1952年に建てられた旧サビエル記念聖堂の焼失後、1998年同地に現在の記念聖堂が建立された。1階には、サビエルの足跡の紹介、ナバラ州から贈られたステンドグラス、旧聖堂の鐘や模型・歴史資料、サビエルの旅を描いた金屏風などが展示されている。2階の聖堂はステンドグラスが美しく、サビエルの聖遺物が展示されている。



☎ 083-920-1549
所 山口市亀山4-1
🗓 年中無休
※但し、行事等による臨時休館あり
🙏 拝観にあたっては献金お願い

サビエルゆかりの地や、
室町時代の名庭も、
絵になる！
サビエルの足跡をたどるスポットや、静寂の中で心ゆくまで鑑賞できる名庭も見逃せません！



静かな環境で「日本の心」を堪能

常栄寺庭園 雪舟庭

約500年前に大内政弘が別荘として画僧・雪舟に作庭させたと伝えられる庭は、国の史跡・名勝に指定されている。約30アールの内庭は東・西・北の三方を山林で囲んだ池泉廻遊式庭園で、本堂正面で枯山水の魅力を満喫できるほか、庭園を一周する園路を歩けば眺める場所ごとに異なる趣が楽しめる。本堂南面の南溟庭(写真左)は昭和の作家・重森三玲の作。抹茶サービス(有料)もあるので、一服しながら庭をゆったりと眺め、日本情緒をかみしめるのもお勧め。

☎ 083-922-2272 所 山口市宮野下2001-1
🕒 夏期(4～11月) 8:00～17:00 (入場は16:30まで)
冬期(12～3月) 8:00～16:30 (入場は16:00まで)
🗓 年中無休
🎫 大人300円、中・高校生200円、小学生以下無料、障害者手帳所持者と付き添い1名150円
抹茶サービス(有料) ※受付にて事前にご確認ください



ばくのお気に入りの場所です。
P.13の庭の写真も見てね！



日本初の教会跡地が残っていた！

サビエル公園

サビエルが大内義隆から廃寺であった大道寺を与えられ、布教を行った場所。1893年にフランス人ペリヨン神父がこの地を探し当て、日本初の教会のあった場所として1926年にサビエル記念碑を建立した。園内にはペリヨン神父の銅像、大内義隆の裁許状の銅版碑もある。

所 山口市金古曾町/見学自由

緑あふれる盆地の街並みを見渡すなら、ココ！

亀山公園山頂広場

山口サビエル記念聖堂に隣接する小高い丘に広がる公園。記念聖堂から続く階段の途中には大内義隆が教会建立を認めた裁許状を写した碑などがある。記念聖堂をバックに撮影するベストスポット。頂上の広場からは市街地を一望できる。

所 山口市亀山町/見学自由

亀山公園に登る
階段から眺める
サビエル記念聖堂も
ステキ！





どんな山の幸があるの？

瀬戸内の自然の中で育てられた最高級・純粋黒毛和牛の阿知須牛は、数々の賞を受賞した逸品。同じ阿知須地区特産のカボチャ・くりまさるは、その名のとおり栗に勝る甘さが自慢。他にもあとう和牛、徳地わさび、山口いちごなど、豊かな自然に育まれた山の幸がいろいろあります!!

おいしい食べ物がいっぱいあります!!



市内5か所の道の駅や朝市で、おいしい産直野菜がリーズナブルに買えますよ!



徳佐りんご

スペイン代表選手もお気に入り♪

水泳スペイン代表選手イチオシ、おいしさがギュッと詰まっている徳佐りんごもお土産にオススメ!! また、山口市の北部に位置する阿東エリアには、観光りんご園がたくさんあり、8月～11月はりんご狩りが楽しめます。りんごジュースやアップルパイ、ジャムなどの加工品は一年を通して道の駅などで購入でき人気です。

☎ 083-956-0553 (徳佐りんご観光協会)
アクセス/JR鍋倉駅から徒歩10分程度
観光りんご狩り/8月中旬～11月下旬
※料金、休日等詳しくは上記観光協会までお問い合わせください。

おいしいりんごがギュッと詰まっています!!



徳佐りんごの おいしさのヒ・ミ・ツ

りんごは寒冷地で育つ果物。だけど産地の中では気温が高い暖地ほど、糖度の高い実を实らせる。そのため、りんご生産地としては日本西端に位置する徳佐りんご園のりんごは、北の地方の名産地りんごより糖度が高く、甘みたっぷり。西日本最大級の規模を誇る観光りんご園には、1万5000本もの木があり、品種も30以上とバラエティ豊か。しかも徳佐りんご組合加入の農園全てが人や環境に優しいエコファーマーに認定されていて、おいしさに安心・安全もプラスされているのです。



なぜ新鮮な海の幸が 味わえるの？

瀬戸内海と日本海のまん中に位置する山口には、それぞれの地元漁港に水揚げされた魚貝類が直送で届きます。だから鮮度とびきりのさまざまな魚介類がお手軽価格で存分に味わうことができます。刺身・天ぷら・鍋などお好みのメニューで召し上がれ!!



秋穂や阿知須など海に面した山口市の南部エリアでは、一般の人でも購入できる鮮魚の朝市が開催されていて人気!



お隣に座った誰かさんとも気軽に乾杯! 乾杯の数だけ楽しい思い出ができる?



みんなでワイワイ! とっても楽しい時間! あなたのオススメの一品を教えてください。



おいしい地産の焼鳥や鮮魚抜群のお刺身、山口の郷土料理... 都会と比べたらかなりリーズナブル!!



200軒以上の飲食店がひしめく湯田温泉!! 旅先のおいしい思い出は町なかに行こうとしているゾ?



居酒屋サイコーです!

夜はやっぱり
居酒屋で
乾杯~!

お店検索は 狐の足あと 湯田 検索



彩都山口 旬情報

SIGHT
YAMAGUCHI
vol.11

中原中也記念館 開館25周年

中原中也のふるさと山口を訪れる人々に、その風土を通じて中也の世界を感じていただくことを目的に、1994年、中也の生誕地・山口市湯田温泉に開館、今年2月、開館25周年を迎えました。

四半世紀という節目の年を迎え、文学館として25年間培ってきた実績をまとめた形で紹介するとともに、新たな文学表現の可能性を探る展示・イベントにも取り組んでいきます。詩人・中原中也の世界に浸ってみませんか？



「アトラスの回想」
(中原中也「地極の天使」より、
2015年制作) 世田谷文学館蔵
©武蔵野

開館25周年記念展 文学表現の可能性【前期】
ムットーニからくり文学館
9月26日(木)～11月24日(日)

文学館のシゴト(仮)
8月17日(土)・18日(日)

【特別企画展】
富永太郎と中原中也
8月1日(木)～9月23日(祝)

トーク&ワークショップ
8月17日(土)・18日(日)

開館25周年記念コンサート
詩と音楽のコラボレーション集団
「VOICE SPACE」による
中也の詩を題材にしたコンサート
「アラバスクの飾り文字」
7月5日(金) 山口市民会館

中原中也生誕祭「空の下」の朗読会」
中原中也賞贈呈式
4月29日(祝) 無料開館

【企画展】
沸騰する精神——詩人・上田敏雄
4月17日(水)～7月28日(日)

【第16回テーマ展示】
四季詩集——中也とめぐる春夏秋冬
2月20日(水)～2020年2月11日(祝)
※特別企画展会期中を除く

【お問い合わせ先】
中原中也記念館
☎083-932-6430
〒山口市湯田温泉一丁目11-21
中也記念館 検索
<http://www.chuyukan.jp/>

■開館時間
9:00～18:00(5～10月) / 9:00～17:00(11～4月)
※入館は閉館の30分前まで
■休館日
月曜(祝祭日の場合は翌日)、毎月最終火曜、年末年始、その他展示替えなどのための臨時休館あり
■入館料
一般320円、学生(19歳以上)210円、70歳以上・18歳以下は無料
※20人以上団体料金あり
※2019年10月に料金改定予定



《開館25周年記念グッズ》



- 中也の詩 えんぴつセット (7本・700円)
- タオルハンカチ 中也くん(白) (600円)
- 「中也くん」LINEスタンプ (120円)
※2019年4月下旬より販売予定
- 「サーカス」モビール (8,500円※受注販売)

このほか「月に吠えらんねえ」のチューヤをモチーフとしたグッズも販売予定



「夕焼けめぐり」(『館報』21号より)
©清家雪子

中也忌
10月22日(祝) 無料開館
開館25周年記念展 文学表現の可能性【後期】
清家雪子展
「月に吠えらんねえ」の世界
11月27日(水)～2020年4月12日(日)

年に1回だけ or 期間限定だけど…

オススメ&人気&一見の価値あり?!

山口の祭・イベント

山口七夕 ちょうちんまつり

8月6日・7日

笹竹に吊るされた紅ちようちんのろうそくの灯りが町筋を幻想的に彩る。日本三大火祭りのひとつ。

☎山口市ふるさとまつり実行委員会
☎083-932-3456



12月、山口市は クリスマス市になる。

12月1日～31日

イルミネーションやゴスペルなどクリスマス関連のイベントが盛りだくさん。

☎日本のクリスマスは山口から実行委員会
☎083-925-2300



私たちが、スペイン語で山口市情報を発信しています!!
(¡Aquí tenéis más información sobre Yamaguchi!)

Me gusta Yamaguchi 検索

<https://www.facebook.com/yamaguchimegusta/>

megustayamaguchi 検索

<https://www.instagram.com/megustayamaguchi/>

SL「やまぐち」号

3月～11月(予定)

大人気の蒸気機関車[C57]と「D51」が汽笛を鳴らし煙を吐きながら山口線を駆け抜ける。

SL「やまぐち」号 検索

URL <http://www.c571.jp>

山口オクトーバー フェスト2019

4月26日～5月6日

ドイツの生ビールとグルメが楽しめる。

☎山口市中央公園・芝生広場特設会場
☎yab 山口朝日放送
☎083-933-1129



ACCESS

●JR

【新山口駅 ⇄ 山口駅】
・所要時間…約25分
・運行間隔…約30分に1本

●バス

【新山口駅 ⇄ 湯田温泉】
・所要時間…約30分
【湯田温泉 ⇄ 西京橋】
・所要時間…約15分
・運行間隔…平日は約20分に1便、土日は約30分に1便

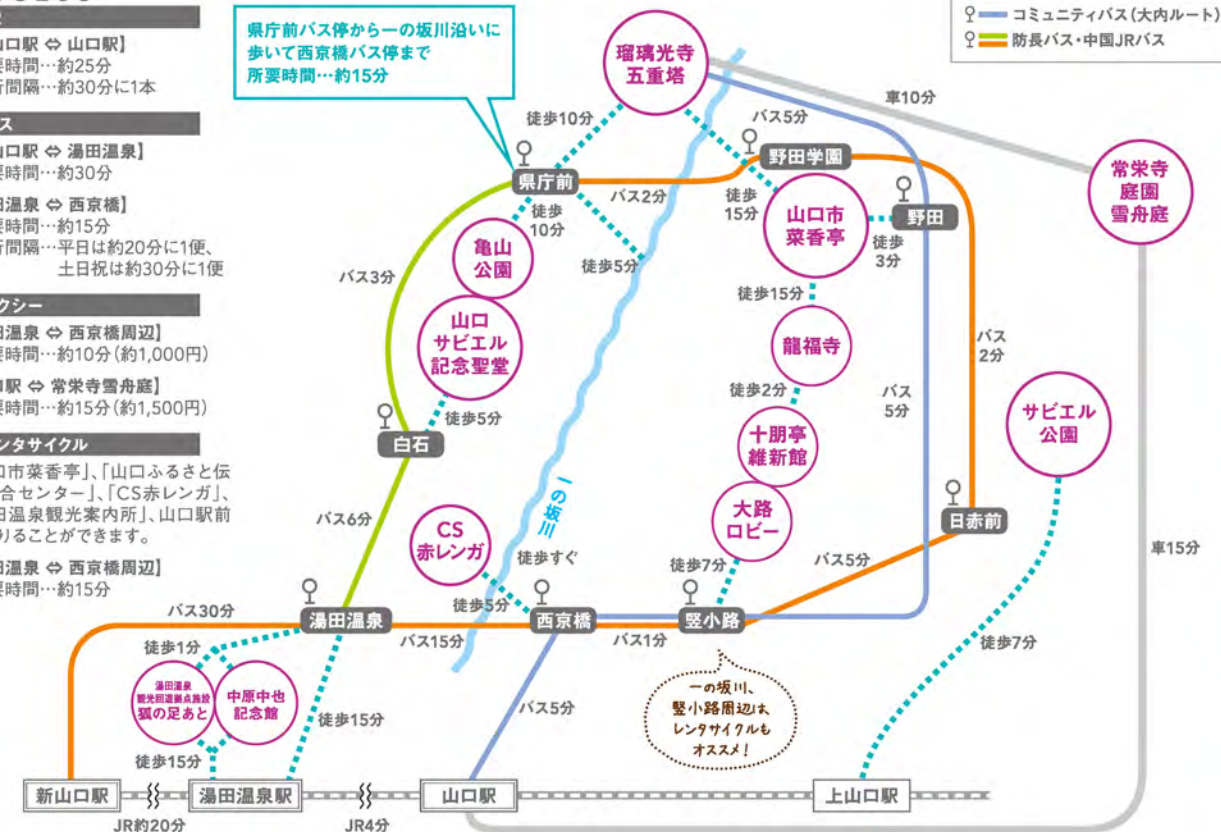
●タクシー

【湯田温泉 ⇄ 西京橋周辺】
・所要時間…約10分(約1,000円)
【山口駅 ⇄ 常栄寺雪舟庭】
・所要時間…約15分(約1,500円)

●レンタサイクル

「山口市菜香亭」、「山口ふるさと伝承総合センター」、「CS赤レンガ」、「湯田温泉観光案内所」、山口駅前などで借りることができます。

【湯田温泉 ⇄ 西京橋周辺】
・所要時間…約15分



※所要時間、料金等は目安です。気象条件や交通事情、個人の体力等によって大きく変わる場合があります。 ※本情報は2019年3月現在のものです。予告なく変更となる場合がありますのでご了承ください。

東京・有楽町にあるやまぐち暮らし
東京支援センターなどで入手できます。



豊かな自然と都市の利便性が共存する
山口市で送るエンジョイ生活

50代からの山口市移住応援ガイド
『YELL 50 エール・ロジュー』

50代からの移住を考えている方への情報を満載したガイドブックが出来ました。その名も『YELL 50 エール・ロジュー』。好アクセスを活用した2地域居住や、温泉や恵まれた食・住環境の中でのゆとりある暮らしを送る体験談はじめ、山口での暮らしや移住・就業支援体制など役立つ情報が満載。「人生後半を山口でエンジョイ!」にご興味のある方にオススメの一冊です。

ウェブサイトでもご覧になれます。
郵送ご希望の方はお問い合わせ先まで

【お問い合わせ先】
山口市定住促進課
☎083-934-4646
E-mail: teiju@city.yamaguchi.lg.jp
すむむ山口 検索
山口市移住ウェブサイト
http://www.sumusumuyamaguchi.jp



最中は1日に製造できる数
が限られているので、当
日来店では品切れとなっ
ていることも



事前予約が
おすすめです

お客様はこだわりの粒餡、お姫様は風味豊
かな抹茶餡。2つの味がたのしめます



【お問い合わせ先】
山口市ふるさと産業振興課
☎083-934-2812
山口風月堂
☎083-922-2112



山口銘菓「大内もなたん」シリーズ
2018年度グッドデザイン賞受賞

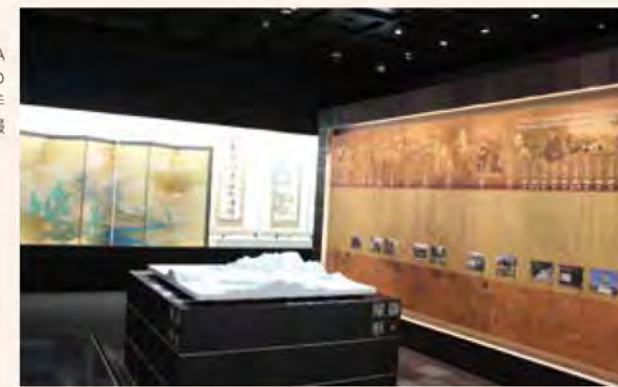
2016年に正式販売が始まった山
口銘菓「大内もなたん」が、2018年
度のグッドデザイン賞を受賞しました。
「大内もなたん」は、山口の伝統漆工
芸品「大内人形」の丸く可愛らし
い姿をかたどって創作された最中で、
山口で大切に育まれてきた地域資源を
より身近に楽しめ、守り、育てるプロ
ジェクトとなっているところが高く評価
されたとのこと。殿、姫の二個入りの
お手頃価格のものから、漆塗の大内人
形がセットになった贈答品向けのプレミ
アムセットまで、幅広い価格帯で販売
されています。

山口土産にかわいらしい「大内もなたん」
をひとついかがでしょうか。

十朋亭維新館

館内では、オリジナルアプリ「十朋亭維新館AR」を使って、幕末維新の頃の長州藩(山口)の情報をはじめ、市内の史跡や施設情報が入手できます。また、維新の志士たちとの記念撮影も楽しめます!!

【お問い合わせ先】
山口市文化交流課 ☎083-934-4155



貸出用のタブレットがあるのでスマホをお持ちでなくても大丈夫!

p.17にも情報あります!!

亀山公園山頂広場

広々とした芝生広場には、毛利敬親公の銅像と広場の歴史を紹介する石碑を設置。車イス等にも配慮したスロープ式の園路やバリアフリーに対応したトイレも整備され、快適性・利便性がアップ

p.18にも紹介しています



大内文化薫る街並みが一望でき絶景です

【お問い合わせ先】
山口市都市整備課 ☎083-934-2832



【お問い合わせ先】
山口市企画経営課 ☎083-934-2747
E-mail: kikaku@city.yamaguchi.lg.jp
ナナシマチ 検索
山口県連携都市圏域のイベント情報
http://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/7city/



山口県央連携都市圏域
「山口ゆめ回廊」の
ロゴマークができました。

山口市、宇部市、萩市、防府市、美祿市、山陽小野田市、島根県津和野町の7つの市と町では、山口県央連携都市圏域を形成し、お互いの個性と魅力を活かしながら圏域内の観光交流、定住、経済の活性化を図る取り組みを行っています。この度、この圏域の愛称「山口ゆめ回廊」のロゴマークができました。誕生したロゴマークは、インバウンドを意識し「和」をテーマに、ゆめ回廊の「ゆ」と「め」を組み合わせたデザイン化。組み紐の色数は市町の数と同じ7で、歴史をイメージした「えんじ色」、地場産品をイメージした「金色」、自然をイメージした「緑色」を用いた7色のグラデーションになっています。「山口ゆめ回廊」では、圏域内のイベント情報なども発信しています。

明治維新策源地の新名所です!

十朋亭維新館 オープン & 亀山公園山頂広場 リニューアルオープン

明治維新150周年を記念して整備を進めていた「十朋亭維新館」と「亀山公園山頂広場」が、維新から150年目の2018年秋、オープンしました。
明治維新の策源地・山口市へお越しの際は、ぜひ一度足をお運びください。





URL <http://sight-yamaguchi.jp/>



山口サビエル記念聖堂

このハガキで「彩都山口」プレゼントクイズにご応募いただけます。

郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、右のクイズの答え、アンケートの回答をご記入の上、お送りください。正解者の中から抽選で10名様に山口市の特産品の詰め合わせをプレゼントします。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

クイズの答え

「彩都山口」の感想をお寄せください。

皆様のご意見を今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。

Q1 「彩都山口」をどこで入手されましたか？

1. 郵送で
2. 市役所や公民館等の公共施設で
3. 駅や観光案内所で
4. 道の駅や特産品販売所などで
5. ホテルや旅館等の宿泊施設で
6. 美容院や飲食店などのお店で
7. その他[具体的に:]

Q2 どの記事が面白かったですか？

1. スペインと山口「山口に受け継がれるスペインとの絆」
2. 山口市は、スペインのホストタウン
3. スペインと山口「遠くて近い、すてきな縁」
4. あなたの知らなかった日本 in 山口
5. その他 [具体的に:]

Q3 山口市のどんなところに興味がありますか？

1. 歴史
2. 自然
3. 芸術・文化
4. 温泉
5. グルメ
6. その他[具体的に:]

Q4 山口市の中でどこか訪ねてみたい所がありますか？

訪ねてみたい理由があれば、それも教えてください。

場所[]
理由[]

Q5 今後、どんなテーマの記事を読みたいですか？

プレゼントクイズ

クイズ正解者の中から抽選で10名様に、山口市の特産品の詰め合わせをプレゼントします!! ふるってご応募ください。

Q 山口市と姉妹都市提携を結んでいるスペインの町の名前は？

- ① ナバラ
- ② マドリッド
- ③ パンプローナ



●応募方法

左の応募ハガキを切り離し、必要事項をご記入の上、お送りください。

●応募締切

第1次/2019年9月30日(月)

第2次/2020年1月31日(金) ※当日消印有効

【個人情報利用の目的】

ご応募いただいた際の個人情報は、誌面づくりの参考とプレゼント賞品の発送のみに使用致します。

webでも「彩都山口」

今お読みになっている「彩都山口」の閲覧をはじめ、山口市が誇る「モノ」「コト」「歴史」などを分かりやすく紹介しています。ぜひ、のぞいてみてくださいね!!



山口市への「ふるさと納税」のお申し込みも、web上で簡単に手続きできますーす!

山口市がもっと好きになる情報サイト
<http://sight-yamaguchi.jp/>



編集後記

今までにない「スペインと山口」という切り口で山口の“彩り”をご紹介した号。いかがでしたか？ 意外な組み合わせのこの2つの交流の始まりは、歴史の教科書で皆さんにもおなじみのフランシスコ・サビエルによってもたらされた偶然の“縁”。両者のつながりを探る取材を通じて感じたのは、目に見えるものではないけれども「お互いを大切に思う心」もまた山口の街を彩る大切な宝のひとつだということ。遥か昔も今もスペイン人を魅了してやまない!? 山口へ、ぜひ一度いらしてみませんか。心よりお待ちしております。

発行/ 2019年3月
山口市総合政策部企画経営課
〒753-8650 山口市亀山町 2-1
tel.083-934-2746
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

Staff

制作統括 株式会社コア Writer 村上郁子
Editor in Chief 矢原玲子 Illustration やまでらわかな
Art Director 松本恵子 Photograph 蔵澄秀昭・杉本沙耶

取材協力

- 山口サビエル記念聖堂 (山口カトリック教会)
- 山口スペイン・ナバラの会
- 山口調理製菓専門学校
- 常栄寺
- 山口市菜香亭
- 大路ロビー
- 山口商工会議所
- ナバラ州政府観光局
- 林檎の樹らら
- 赤と黒

©本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

ふるさとやまぐち寄附金 ふるさと納税のご案内

「ふるさとやまぐち寄附金」にご協力いただいた方(5,000円以上)には、お礼の品として「ふるさとの便り」をお送りしています。

山口市自慢の農林水産品、銘菓、工芸品など300点以上の中から好きなものをお選びいただけます。

寄附金額 5千円以上のお礼の品



やまぐち外郎



湯田温泉宿泊割引クーポン

寄附金額 1万円のお礼の品



活きあいおえび



黒毛和牛ハンバーグ

みなさまのご厚意を
山口市の未来
へと役立てます。



大内人形のオーダーメイド
「Ouchi夫婦」

寄附金額 5万円のお礼の品



やまぐち鮮魚セット

寄附金額 20万円以上のお礼の品



阿知須和牛定期便コース

寄附金額 6万円以上のお礼の品



純国産ジーンズ「ジャパン」

この他にもたくさんあります。
詳しくは、webまたは
下記お問い合わせ先まで!!

ふるさと納税とは

自分が生まれ育った、あるいは関わりが深い地域を応援したいという気持ちをカタチにする仕組みとして、地方公共団体(都道府県や市町村)に対して寄附を行った場合、2,000円を超える部分について、個人住民税や所得税から一定の限度まで全額控除・還付される制度です。

寄附金の使い道を次の6つからお選びいただけます。

- ①山口の個性を高め暮らしを楽しむ「文化・スポーツ・観光なら山口」のまちづくり
- ②産業活力・地域雇用を創出する「働く・起業なら山口」のまちづくり
- ③将来を担う子どもたちを育む「教育・子育てなら山口」のまちづくり
- ④安全安心で快適な住環境「安全安心」のまちづくり
- ⑤生涯にわたって元気に暮らす「健康長寿」のまちづくり
- ⑥まちづくり全体への支援

ふるさとやまぐち寄附金のお礼とご報告

平成29年度、山口市にいただいた寄附金は837,818,440円(28,833件)です。多くのご支援、温かいメッセージをありがとうございます。皆さまからいただいたご寄附は、今後のまちづくりに大切にさせていただきます。

お礼の品や申込方法など「ふるさとやまぐち寄附金」について、詳しくは「彩都山口」のホームページでご覧いただけます。

<http://sight-yamaguchi.jp/donation/>

山口市ふるさと納税

検索



(お問い合わせ先) 山口市経済産業部ふるさと産業振興課

☎083-934-2941 fax.083-934-2650

E-mail info@sight-yamaguchi.jp

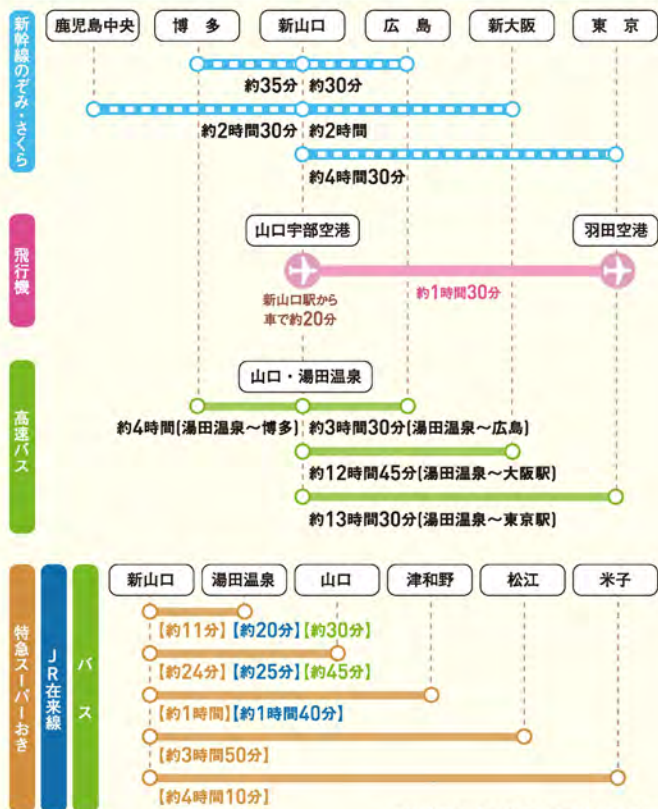
山口市へのアクセス



近隣観光地へのアクセス



県外からのアクセス



※2019年3月現在の情報です。所要時間は目安です。



POST CARD

料金受取人払郵便

7538790

山口中央局
承認
2037

差出有効期間
2020年
3月31日
切手不要

山口市亀山町2-1

総合政策部 企画経営課

「彩都山口vol.11」プレゼント係 行



必要事項をご記入ください

ふりがな				年齢	歳
お名前 (必須)				性別	男・女
ご住所 (必須)	〒 -				
TEL (必須)	() -	FAX	() -		
ご職業					

※応募締切／●第1次／2019年9月30日(月) 当日消印有効
●第2次／2020年1月31日(金)